

三三四六番

見^み欲^ほしきは 雲^{くも}居^るに見^みゆる うるはしき 十^と羽^ばの
 松^{まつ}原^{ぼら} 童^{わら}ども いざわ出^いで見^みむ こと放^さけば
 国^{くに}に放^さけなむ こと放^さけば 家^{いへ}に放^さけなむ 天^{あめ}地^{つち}
 の 神^{かみ}し恨^{うら}めし 草^{くさ}枕^{まくら} この旅^{たび}の日^けに 妻^{つま}放^なく
 べしや

反^{はん}歌^か

三三四七番

草^{くさ}枕^{まくら} この旅^{たび}の日^けに 妻^{つま}離^なり 家^{いへ}道^ぢ思^{おも}ふに 生^い
 けるすべなし